

# 株式会社ジェイコムイースト 横浜テレビ局

## 第 17 回 平成 24 年度 放送番組審議会 概要

平成 24 年度の放送番組審議会は 2013 年 1 月 30 日(水)に J:COM 横浜テレビ局で開催された。

＜放送番組審議会委員＞ (五十音順)

嶋 田 昌 子 様      藤 江 喜 朗 様      三 浦 順 治 様  
三 上 喜 美 子 様      三 代 裕 子 様

事業者側から現況の報告および J:COM チャンネルの報告があった。

【質疑応答・意見交換】 進行 : 藤江委員長

(番組内容について)

委員 審議会に先立って送付されたDVDを視聴したが、内容はよくまとまっていた。本日の説明も、なるほどと理解できるものであった。自分が生まれ育った横浜でも、近いからかえって行かないのかもしれないが、まだ知らないところが多いと感じた。

『タなび』では、司会の宮内さんが寒さに震えながら生放送を務めていた。『今日から！ベイスターズ』、『輝き女子応援団』もよくできた番組である。『横濱ツウ！！』では、地元の人でも知らないような地名「掃部山(かもんやま)」を取り上げてくれたのはよかった。

メジャーな局と同じような番組内容になってきたと感じられることはすばらしい。

(番組の内容について-2)

委員 女性がテレビを見るときは、家事をしながらであることが多い。前回の審議会で意見を出したからか、女性目線で作られた番組が多くなってきているように思う。『輝き女子応援団』という番組は今まで見ていなかったが面白かった。テレビの視聴時間が長いと考えられるので、リタイヤした男性をターゲットとした番組を作ってみればよいと思う。また、横浜の地域に根ざした歴史を盛り込んだ番組を作っていってほしい。なお、営業報告の中で本牧地域を埋め立て開発地と表現していたが、米軍の接收解除が正しいと思われる。

宮内さんはとてもよいキャラクターで、J:COM の顔になってきているように思う。

(番組の内容について-3)

委員 家族がBS放送の紀行番組が好きなので、最近、J:COMチャンネルをあまり見ていなかったことを反省したい。たまにつけてみると、商品の宣伝(通信販売番組)であったりす

るのが残念である。野毛のお店を取り上げた際は、行ってみたいなという気持ちにさせる番組のつくり方となっていて、すごいと感じた。

『タナビ』のクリスマスプレゼントは、たくさんの品物を苦勞して集めたようであった。プレゼントを準備して番組に引き寄せるのはわかるが、番組の視聴対象者が若い人向けならば、放送時間を考えたほうがよいのではないか。

『横浜ミストリー』(YCV制作)は面白い。取り上げるエリアを小さくするほど楽しめる。いずれにしても、J:COMにもっと発展して行ってほしい。

事業者 プレゼントは事前に各店舗に交渉して準備していたものである。取材先にとっては、PRできることになるため、ご協力いただけることもある。今回の元町からの生放送がきっかけで、映画のロケ地に使いたいという話がきたようである。

#### (URの集合住宅の導入)

委員 おかげさまで洋光台のURの物件への導入の件がすすんでいる。ただし、高齢者が多いのでどれだけ加入がのびるかがわからない。

委員 「洋光台音楽の集い」などのイベントを放送することによって、近隣の地域で話題になる。事前にきちんと説明していただき加入を多く獲得できるようにしてほしい。

事業者 加入者の年齢層は50代以上が65%というデータもある。これはテレビを視聴する時間が多いためと考えられる。少ないチャンネルの安価な加入プランもある。洋光台の物件は事前に説明会の開催を予定している。

#### (J:COMチャンネルへの期待)

委員 働いているので、平日はなかなか時間がないが、週に1~2回は、情報収集の意味で自分の部屋でじっくりテレビを視聴するよう心がけている。ゴールデンタイムの民放はつまらないので、J:COMチャンネルかBS放送を見ている。J:COMチャンネルは地域密着で的を得た情報発信をしている。加入したばかりのころと比較して、生中継などによって番組が飛躍的によくなったと実感している。

横浜ベイスターズのファンとしては、J:COMに番組があることはすごくよいことである。市民球団のようになるよう継続して行ってほしい。

横浜テレビ局のエリアは話題にことかかないと思う。『アド街ック天国』で元町が取材された際は、セールの上上が1.5倍になるほどであった。

みなとみらい線が埼玉方面に延伸されれば、集客率がさらに上がってくる。J:COMも地域振興の担い手としてメディアとしての社会的責任が大きくなると思うので期待している。

一方で、見えない部分の街づくりはまだまだ拾い上げていないと思う。大きな災害時には市の職員では対応できないといわれている。消防団員の減少や高齢化が問題となっているので、

若手団員の募集にも協力してほしい。

委員 東日本大震災の際には、節電のためにテレビの放送をやめるべきとか自動販売機の電源をおとすべきという人もいた。

(取材依頼について)

委員 国連WFP協会の理事を務めている関係でお話したい。6月に「第5回アフリカ開発会議」が開催される。国際都市横浜のよいPRになると思うのでぜひ取材をお願いしたい。

事業者 「アフリカ開発会議」の企画のひとつである「一校一國運動」に関しては、神奈川県のカナダケーブルテレビ協議会から依頼があり、横浜市の他局と共通の番組コンテンツを放送する予定である。

閉会

貴重なご意見をいただき感謝したい。ひとつひとつ関係各部署で検討し実現していきたい。二つのコミュニティチャンネルの特徴は次のようになる。11CHは、従来どおり横浜の地域情報を中心に編成していく。10CHは昨年からは北海道から九州までの広域の情報発信が中心となっている。いずれのチャンネルも、今後もいろいろな可能性にチャレンジしていきたいので引き続きご支援をいただけるようお願いしたい。

3月15日(金)に新局舎の開所式を予定している。放送番組審議委員の皆様もお招きする予定である。予定時刻となったため、以上で第17回放送番組審議会を閉会する。

以上